

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

作成日

平成 23年 9月 29日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170300406		
法人名	(有)ハートコネク		
事業所名	グループホーム さくらの樹		
所在地	〒841-0005 鳥栖市弥生が丘4丁目22番		
自己評価作成日	平成23年9月29日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成23年11月18日	外部評価確定日	平成23年12月21日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

『楽しいわが家 明るい家族』を目指して、いつも明るく笑顔が絶えない家庭的な施設を目指しています。職員の配置に余裕を持たせる事により、常に利用者様のペースを守り、出来る事出来そうな事を職員の支援によってゆっくりとやって頂く事で、出来る限りの自立支援を心掛けています。またその人らしく残りの人生を過ごされる様にご家族とも相談しながら、また、普段の生活で得た情報を職員間でも共有し最期まで安心して生活出来るような支援体制も出来ています。毎週の往診と24時間対応可能な協力医と共にターミナルケアも実施しており、人生の最期の支援をさせて頂く事の重大さをご家族の方と一緒に毎回職員全員で共有しています。また、恒例となっている行事ではその方の誕生日当日に行う誕生日会や季節の行事には近隣の方やボランティアの方を積極的に受け入れて、一緒に楽しんで頂いており、ランチ外出やお花見外出も皆さんの楽しみの一つになっています。毎日の食事も朝食は一汁二菜、昼食夕食は一汁三菜と旬の野菜を取り入れ彩りも工夫しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

鳥栖市の北東部に位置する新興住宅街に位置し、交通の便もよく、近くには公園や病院、飲食店、保育園、小学校等が点在している。周りには事業所への理解者も多く、日頃から、野菜や花等を頂いたり、庭の草取りをして頂くなど地域との温かい交流がなされている。また、災害時の避難訓練には、区長や近隣者の参加も得られている。職員は、利用者を人生の大先輩として敬い、支えられていることも認識しながら、日々の支援に邁進している。職員は、基準より多く配置されており、利用者一人ひとりの思いと本人のペースに応じた支援が行われている。職員と利用者が1対1で出かける日々の散歩や、ゆっくりと時間をかけて行う入浴支援は、利用者の思いや意向等が把握できる大事なひと時にもなっている。居室と居間の周りには、長いサンデッキが設置されており、利用者はいつでも自由に入りができ、機能訓練や外気に触れられる楽しみの場になっている。益々の発展が期待される事業所である。

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「皆様と共につくる 楽しい我が家・明るい家族」と理念を掲げ、地域の中で地域の方々と一緒に今まで生活されていた家庭と同様な安心出来る環境を提供できるようにと支援に努めています。	地域密着型サービスの役割を踏まえた理念を作り上げている。職員の採用時には、理念の内容について説明し、また、日常の業務や職員会議の中でも確認し、理念の具現化を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日のお散歩で近所の方々と積極的に交流をはかっており、お花や野菜などおすそわけを頂く事もあります。また、気軽に区長さん他たくさんの方々も来訪して下さっています。毎年開催されている地域の夏祭りには浴衣を着て参加され利用者の皆さんの楽しみの一つになっています。	地域住民には事業所の理解者も多く、積極的な交流がなされている。近隣の方からは野菜や花等を頂いたり、草取りの協力も得られている。誕生会等には、区長や地域の演芸ボランティアも度々参加されている。また、クリスマス会では保育園児との交流もなされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談見学来訪時には、いつでも丁寧に対応する事を心掛けています。また、『こども110番の家』でもあり、いつも開放的な施設であるように努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族代表、市議会議員、区長、民生委員、包括支援センターの担当者の方、ソーシャルワーカーの方等様々な方面から出席頂き質問や意見も頂き積極的にサービスの向上に努めています。	昨年度までは運営推進会議を行っていたが、今年度は実施されていない。	運営推進会議は、事業所が地域密着型サービスとしての役割を果たすために地域の理解と支援を得るための貴重な機会であることから、早急に開催に取り組まれることを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃からもつながりを大切にして、必要に応じて電話や訪問して相談し助言や協力を頂いています。	行政の担当者とは気軽に情報交換や相談ができる協働関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員に身体拘束について周知徹底しており、実践できています。日頃からも全ての出入り口は解放しており、職員が連携してさりげなく見守る体制が出来ており、利用者の方のびのびと生活されています。	職員は身体拘束の弊害を理解しており、安全に配慮しつつ自由な暮らしを支援している。屋間は、玄関も施錠されおらず自由に出入りができる。利用者との会話では言葉を遮ったり否定しないように心がけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的精神的にも、些細な事でも言葉使いや接し方なども日頃から職員全員で注意を払って支援しています。また、見過ごされることの無い様に職員同士で話し合う様にもしています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、安心サポートを利用されている方はおられますが、今後さらに必要性が出てくると思われるので、いつでも情報を提供できるように体制を作っていきたいと思っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は契約内容はもちろん、運営規定、重要事項説明書、看取りの指針など丁寧に説明して、同意書を頂いています。その後も疑問点があれば都度説明して十分納得して頂けるように努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会のご家族も多く、利用者様同様、日常的な会話の中からも意見や要望を聞く機会を作り、話しやすい雰囲気作りに努めています。	全部の家族が頻繁に面会に見えており、その都度声掛けをし、気軽に何でも言ってもらえるような雰囲気作りに配慮している。要望等が出された時には、話し合って反映させている。なお、重要事項説明書には、苦情申し立て窓口も明示している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	普段から相談しやすい環境づくりといつでも意見などを協議検討できるように『ケース検討議案書』を利用できる体制にしています。また、毎月1回夜間に全体会議を行っており、全員で話し合う機会も設けています。	職員は日常の業務や職員会議及び検討議案書を利用して意見や提案を行っている。出された意見や提案等は話し合って支援に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出来る範囲内で勤務希望に添えるようにしており、またそれぞれの特技を活かせるようなシフト体制になるように努めています。年に2回は運営者との食事会、昇給や賞与も給与規定に基づき充実しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	都度、外部研修に参加指導をしております。また、研修は勤務扱いで参加してもらい、より一層真剣に取り組んでもらっています。内部的にも日頃からシフトを工夫してスタッフ同士での資質向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会、介護支援専門員協議会にも入会しています。いつでも連絡できる体制を作っており活用させて頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居され間もなくは特に積極的な信頼関係作りに努めています。その中でご本人にとって必要な支援を見極め早期に安心を確保される様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前見学の段階でもご本人ご家族の状態や要望や気持ちを理解できるように努め、早期に安心と信頼関係が出来るように心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	最優先されるべき支援を早期に見極め、対応する事を心掛けています。また、必要であれば他のサービスへ相談も取り入れるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩である利用者様には学ばせてもらう事も多く、日頃の生活の中でも昔ながらのやり方などを教えて頂いたりする関係も出ています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との絆を大切にすることも、いろいろと相談させて頂く事もあります。終末期には一緒に居室で過ごす時間を作ったり、食事介助にも積極的に来て下さるご家族もおられます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも来訪して頂ける体制にしておき、ご家族はもちろん友人や馴染みの方々の面会は多く、ゆっくり面会して頂いています。毎日のレクや行事にも一緒に参加して下さり一緒に楽しめる事もあります。	職員は利用者の馴染みの人を把握しており、面会時には歓迎し、関係の継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様それぞれの性格や身体の状態を把握して、テーブルの席を配慮したり、利用者様同士いい関係になるように職員が介入したりしています。利用者様同士が支え合いねぎらいの言葉も聞かれるいい関係も出ています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご入院になられた方もご家族に近況をお尋ねしたり、ご家族からの相談に応じたり出来る限りの支援に努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人への理解をさらに深める為に、日々の関わりの中で当日得られた情報、表情などは記録に残し、たくさんの情報の中でさらに支援内容を検討していけるように努めています。	日常の関わりや1対1で支援する散歩や入浴時の会話、表情等から本人の思いや意向を把握している。また、勤務者全員が、日々、全ての利用者との関わりを記録し、新しい情報の発見に努め支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居時には出来るだけ多くの情報を得られるようにご家族、関係者の方に聞き取りを行い、出来るだけ継続した生活が出来るように努めています。また、普段の生活の中で得られた情報なども漏れの無い様に記録に残す様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	時系列式の個人記録で1日の生活内容の把握に努めています。また、利用者様の気持ちの変化も5段階に分けて記入し、スタッフ間で情報を共有し、日頃のケアに活かしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	近況は毎月のホーム便りやご家族の面会時に報告しています。普段から意見や要望もお尋ねして、より良く生活出来るように申し送りや会議等で職員間で話し合い、介護計画を作成しています。	本人及び家族の希望や意向を確認し、職員や関係者で話し合い、本人本位の介護計画を作成している。介護計画は、定期的に評価と見直しを行っている。また、状態に変化が生じた時にも、速やかに見直し、現状に即した計画で支援している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録には当日勤務の職員全員が各利用者様分を記入する事で様々な気づきが得られるようになっており、日々のケアや介護計画に活かす様にしています。また、一人のスタッフが色々な時間帯に勤務し、利用者様の時間帯での変化にも気づけるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人ご家族のニーズに応じて柔軟に対応出来るように、職員の配置にゆとりを持たせています。ご家族の面会時には状況の報告や普段の生活ぶりの記録などを読んで頂く様に声掛けしています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様の知人、昔からの友人、町内の保育園小学校、近隣のボランティアさん等、多方面からの訪問があり、利用者の皆さんの楽しみの一つにもなっています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在ご家族の希望により2名の方が以前からのかかりつけ医への受診をされています。また、24時間対応の訪問診療は毎週火曜日の往診もあり、ご家族の希望があればいつでも立会うことが出来、説明や相談も可能な体制を整えています。	本人や家族の希望される、以前からのかかりつけ医や協力医(訪問診療)による診療を支援している。主治医の変更は、家族の希望によりなされている。訪問診療医と他の協力医療機関とも連携がとられており、安心した受診体制にある。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場の看護師や訪問診療の看護師に、少しの気付きや情報も伝え相談し日頃のケアに活かしています。また、早めの連絡で毎週の往診時に対応できる体制にもなっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の不安を少しでも軽減できるように、職員は出来る限り面会するように努めています。また早期退院の為に入院中はもちろん、施設の運営推進会議にソーシャルワーカーの方にも参加して頂き、日頃からも情報交換に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居時には施設で可能なケアの説明とご本人ご家族の意向を伺っています。終末期には早期より希望に添える生活を送れるように、主治医、ご家族と説明や話し合いを繰り返し、日々変化される状態にも記録物や申し送りでのケアの統一に努めています。	利用開始時に重度化や終末期に係るケアの指針を説明し、意志の確認を行っている。終末期には、随時、家族の気持ちを確認し、医師と職員が連携し、安心して最後を迎えられるように支援している。これまでも看取りの支援がなされている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に救命救急士による心肺蘇生術、AED操作の講習を行って頂き、スタッフ全員が実習できるように時間を十分に取っています。また、いつでも確認出来るように対応マニュアルも準備しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防署の指導により夜間想定での避難訓練を行っています。その際は近隣の方への参加案内をして実際参加も頂いています。また、ご厚意により近隣の方の連絡網を作ってご協力もいただいています。	年に2回、消防署の協力を得て、火災時の消火や夜間の避難訓練等を実施している。訓練には、区長や近隣住民の参加も得られている。また、近隣住民による、連絡網が作成されている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に人生の大先輩としてお一人お一人の人格を尊重した声掛けや対応をするように日頃から心掛けています。毎月の全体会議では場面場面の具体的な声掛けの仕方について学ぶ機会も設けています。また、入浴は、1人1時間と余裕を持った時間で1対1の会話も楽しむようにしています。	職員は利用者を人生の大先輩として敬い、節度を保ってさりげない声掛けや対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	いつでもご本人の希望を最優先出来るように優しい雰囲気作りと、利用者様の能力に応じて意志表示をしやすい声掛けの工夫に努めています。また、表情等でも感じ取れる様に日頃からの様子や会話も記録に残しケアに活かしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の流れはありますが、お一人お一人の以前からの生活のペースを大切にしてお過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご希望の衣類を選んで着て頂いたり、毎朝の日課としてお化粧の支援もしています。定期的な訪問理美容を利用して好きな髪型、カラー、パーマも希望される方もおられます。また、毎月のランチ、お花見外出時はお化粧されたり衣類を選ばれたりとおしゃれを楽しんで頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の個々の力を発揮して、下ごしらえ、つぎ分け、食器拭きとそれぞれに出番があります。利用者様によっては一緒にキッチンで過ごす事で食事作りに参加している気分も味わってもらっています。	利用者の力量に応じて、野菜の下ごしらえや、盛り付け、片づけなどを一緒に行っている。職員も一緒に同じものを食べ、利用者に合わせてペースで楽しい食事となるように支援している。自家製野菜の収穫時には、それを食材とし、利用者の喜びにもなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は毎食後、水分摂取量は毎晩チェックしており利用者様の状態の把握に努めています。食事の形態も個々に合わせてミキサー、トロミを検討したり、水分が摂りにくい方はポカリゼリーで対応する等しています。又、テーブルには個人個人の水筒と湯飲みを準備していつでも水分摂取できる環境を作っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後利用者に応じた口腔ケアを行っており、義歯は定期的に洗浄液に浸漬して清潔保持にも努めています。また、毎週木曜日には歯科往診にて数人づつ専門的な口腔ケアも行っています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はトイレ誘導を基本としており、夜間オムツ使用の方も日中はトイレで排泄して頂いています。また、排泄チェック表も活用して個人個人の排泄パターンを把握して失禁予防にも努めています。	排泄パターンや利用者の力を活用し、おむつ使用者も昼間はトイレでの排泄支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には排泄の度に腹部マッサージを行い、また、日頃から旬の野菜を取り入れた食事の提供と水分を十分に取って頂ける様に各入居者様専用の水筒を準備していつも目につく場所に置いて飲んで頂いたりしています。運動不足にもならない様に毎日の散歩やレクの体操も役立っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	当日の体調や希望に応じて入浴して頂いています。楽しみの一つでもあるので時間も十分に取、スタッフと一対一で一緒に衣類を選びながら入浴、入浴後は爪切り等のケアまで行っています。	週3回の入浴を基本にしているが、本人の希望に応じて支援している。入浴時には、1対1で、ゆっくりと時間をかけて対応し、着替えの準備から本人と一緒にいき、入浴が楽しみとなるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居前の生活習慣を崩さない様に配慮しています。また、夜間の睡眠に支障の無い様に状況に応じて日中はリビング横の和室での休憩も取り入れています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用中の薬に関しては利用者様毎にファイルしてスタッフがいつでも確認できるようにしています。服薬介助時は誤薬の無い様にスタッフ2名で確認し合い、また、毎週来訪される薬局の先生にもさらに詳しく内容の説明や質問もできる体制になっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴や趣味を把握して、野菜作り、食器拭き、洗濯物干し畳みなど出来る事、出来る部分をやって頂く事で、役割が出来、ご本人の意欲を引き出し喜びを持って生活して頂く様に努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日午後からは散歩外出の時間を設けており、毎月1回の全体外出では、レストランランチ、季節のお花見など入居者様の楽しみの一つにもなっています。	毎日、午後には1対1で散歩に出かけ、利用者一人ひとりの時間をつくっている。また、地域のタクシー会社や飲食店の協力を得て、毎月1回は、全員で季節の花見や外食にも出かけており、利用者の楽しみになっている。お墓参り等のそれぞれの外出希望は家族の協力を得ながら支援している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が困難な方が多いですが、少額でもお金を持つことで安心される方には、ご家族と相談の上で所持して頂いています。外出時は支払いもやって頂く様に努めています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望時には電話でお話して頂く様に配慮しています。また、遠方のご家族からの贈り物等にはお礼の電話をして頂いたり、季節のあいさつのはがきなどを出す機会も作るようにしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な環境づくりを心掛けています。リビングでは料理中も利用者様とコミュニケーションを図れるようなキッチンの配置で自然とキッチン周りに集まり、混乱もなく穏やかに過ごされています。また、ご家族やスタッフの持参した花や季節感ある手作りの飾り付けも皆さんに喜んで頂いています。居室やトイレの温度管理もしております。	玄関や居間兼食堂は、設えや調度も家庭的な物で利用者が安心して過ごせる雰囲気である。対面式の台所からは、調理の音や匂い等が居間に届き、利用者の五感を刺激している。食卓の上には季節の花も飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング、ソファ、キッチン前、和室など利用者様それぞれの心地良い場所が出来ています。利用者様同士、時々トラブルになりそうな時は早めにスタッフが介入したり、食事の席を配慮したりして対応しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設的にならない様にチェストやベットは各居室で違うタイプの物を用意しています。また、馴染みの椅子や写真や小物等も持参いただいで、安心して居心地良く過ごして頂けるように配慮しています。	職員は家族と協力して居心地の良い居室づくりを支援しており、備え付けのベッドも、利用者の機能に応じたものを配置している。居室の周りには、サンデッキがあり自由に出入りができる。それぞれの居室には、写真や、飾り物、利用者の作品、時計、椅子、小物等が見受けられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家庭的な雰囲気を損なわない様に居室やトイレ浴室など分かり易く配置しており、施設内は安全に自立支援できるように遠目でも見守りしやすい造りとなっています。キッチンには、アイランドキッチンで三面からお喋りや見学、お手伝いをして頂けるようにしております。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)  
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない